全国胡蝶蘭部門近畿研修会討論会まとめ

最近の洋蘭業界は販売価格の低下、生産資材の値上がり等経営環境はますます悪化するばかりです。また、市場手数料の自由化という大きな環境変化の中、生産者はより厳しい経営を余儀なくされると考えられます。

業界発展の方向を見いだすべく市場、生花店、台湾生産者、資材業者等を交え全体での討論会を行いました。

以下に主な意見内容を記します。

◆市場に関する意見

１．経営難を理由に市場が手数料の値上げを考えているようだが生産者は市場が倒産しては困るのだから手数料の値上げに絶対反対なのではない。
経営の効率化、統廃合など、コスト削減に努めていただき安易な値上げは回避してほしい。

２．買参人も市場を利用し商品を仕入れているのだから市場の運営コストを負担するのは当然と思うゆえに買参人からも手数料を取る仕組みを作ってゆこう。（今まで、取っていなかった買参人から手数料を取るのは市場、買参人の抵抗が非常に大きいと思われるので、手数料自由化とは逆行することになってしまうが法律で決めていくように働きかけよう。）

３．消費拡大のための資金を捻出する方法を継続して模索してゆく。
（双方から手数料を取ることにより結果として市場の手数料収入が増加し、経営の安定を図ると同時にその一部を花卉の消費拡大の資金として蓄積し有効に活用する方法並びにその組織を確立することを目指す。卸売市場、買参人、生産者の三者が協力して消費拡大を推進することにより共に繁栄し花卉業界が大きく発展してゆくことを目標とする。）

４．取引内容の明確化（売り上げ伝票に買参人番号、相対、競り等取引内容の明記）
相対取引に於ける価格の透明性確保。

◆その他

１．農事用電力の範囲拡大を要望する。

２．輸入胡蝶蘭株の植物検疫の簡素化を要望してゆく。